

2026年
10月号
横浜市
衛生研究所

感染症に 気をつけよう

衛研インスタ
フォローをお願いします



今月の感染症流行状況



疾患名	流行状況	説明
インフルエンザ	注意報 発令中	年齢別では15歳以下が全体の約70%を占める 学級閉鎖の報告も増加が続く
新型コロナウイルス 感染症	注意	8月から緩やかに増加 患者の年齢層は乳幼児から成人までと幅広い
ヘルパンギーナ	注意	8月に減少したが再び増加、乳幼児を中心に流行 トイレ・おむつ交換後は特に手洗いの徹底を
腸管出血性大腸菌 感染症	注意	食品を十分に加熱する、食品・器具を衛生的に取り 扱う、手洗いの徹底など、しっかりと感染予防を

今月のトピック

急性呼吸器感染症

01 注意したい感染症

Check!

インフルエンザ以外の疾患も増えています！

インフルエンザ
新型コロナウイルス感染症
ヘルパンギーナ
RSウイルス感染症 など

感染経路

- 咳やくしゃみに含まれるしぶきから感染します
- 手を介して口、鼻、目などから感染します
- 便から排出されたウイルスが口に入り感染します

02 予防方法

秋の行楽シーズンや、学校行事の増える季節です。感染対策を十分に行いましょう。



流水と石けんで
手洗い



咳エチケット



換気
窓は2か所開ける

インフルエンザワクチン

体調の良いときに
早めに接種



横浜メディカルダッシュボードで最新の流行状況をチェック

横浜市感染症情報センター10月15日発行

横浜メディカル
ダッシュボード

